

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013-2014年度 国際ロータリー会長 ロンD. パートン



2013-2014年度 会長 鷲塚貞長 幹事 服部 滋 クラブ会報委員長 佐藤公俊
創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30
例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551
TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2014 March 12

■ 2013~2014年度方針

“原点に戻り 品格あるアドバンス”

Return to basics Advance with intelligence

NO.33

例会報告

- 第2029回例会 平成26年3月12日(水) 晴
- 3月は識字率向上月間
- 創立42周年記念例会



乾杯
長谷川通雄
1980~81年度会長

- ロータリーソング 我等の生業

- 出席報告 会員 106 名中 出席66名
(102)
出席率64.71% 修正出席率84.44%
(2月26日分)

- ビジター紹介
神戸 邦夫君 (豊橋南RC)

- ゲスト紹介
・ゲストスピーカー 歴史家 加来 耕三氏

- ニコボックス
「久しぶりにメーキャップさせていただきます。
鷲塚会長、お久しぶり。」
神戸邦夫地区危機管理委員会委員 (豊橋南RC)
「創立42周年をお祝いしましょう。」

石原敏夫君、長谷川通雄君、夏目 稔君
富島照男君、小南速雄君、黒田史郎君
本多國泰君、稲川 久君、國分孝雄君
田中正次君、上野山 進君、松原忠久君
中野義識君、加藤重和君、柏木博喜君
高木一平君、安井信之君、亀井敏勝君
加治佐健二君、吉田正道君、田尻幹夫君
浅野 洋君、山田和弘君、今村孝治君
端山佳誠君、槇野智之君、岩田玄知君
内間三好君、武田 猛君、坪井和義君
亀谷喜敬君、天野倭明君、町田重夫君
相羽繁生君、二村仁治君、高田朋太郎君
長澤功雄君、小林利之君、桑山卓也君
加藤智弘君、中条忠直君、片桐寛治君
服部雅紀君、谷 喜久郎君、近藤東臣君
丸山弘昭君、山村博伸君、山本秀樹君
中川信治君、石川雅迪君、久保和彦君
伊藤勝康君、板倉弘康君

「デジタル無線式4トン柱吊り機械を開発しました。
現在、名古屋駅前の郵便局の現場で活動中です。
2台目を今月26日に納入致します。」加藤一郎君
「今日は小生と妻共誕生日のためお祝いをいただき

ました。クッキーとメロンですので明日からこれ
を持って旅行に出掛けます。」 武藤 博君
「3月9日(日)名古屋シティマラソンに参加 ハー
フマラソンの部 21,0975キロ好記録余力を残し
完走しました。谷さん、今回は一緒に走りましょ
う。ピッチ走法(チョコチョコ走法)」横井辰幸君
本日のニコボックス 5件 114,000円
累 計 179件 1,805,000円

亀井敏勝副幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・ 3月19日(水) 3月26日(水)が規定休日のため、
例会終了後、理事会を行います。
- ・ 3月26日(水) 規定休日のため休会です。
- ・ 4月2日(水) お花見夜間例会、18時~。
場所はウェスティンナゴヤキャッスル
です。お昼の例会はございません。
※本日、ご案内を配布しております。
- ・ 4月7日(月) 6RC合同例会です。
名古屋東RCホストのため、4月9日
(水)を変更して、4月7日(月)に開
催致します。場所はウェスティンナ
ゴヤキャッスルです。時間は12時
30分~13時30分予定。4月9日(水)
のお昼の例会はございません。

※行事予定では、5月28日(水)が春の家族会になっ
ておりますが、5月21日(水)を変更し、5月17
日(土)に家族会を開催致します。5月28日(水)
は通常例会になります。

鷲塚貞長会長挨拶

“関の小萬”

東海道五十三次の宿場町の中で、国の“重要伝統
的建造物群”に指定されている、約200軒もの町屋が
現存しているのは、“関宿”だけです。

関といえば、“刃物の関”が浮かびますが、“関宿”
は、三重県の亀山市街から西に6キロ程に位置し、国
道1号線の側道になりますので、これだけの史跡にもか
かわらず、意外に知られていません。

関宿にはいくつかの“興味ある伝聞”がありますが、
最も有名なのが、“関の小萬の仇討”です。(伝説とは、
有史以前の出来事に用いる表現です)

十代将軍・家治の頃、久留米藩士・牧藤左衛門は、
同僚の小野元就との諍いで斬殺され、小野は逐電、そ
の後名を小林軍太夫と変え、亀山藩に仕官していること
が判明します。

故藤左衛門の妻女は身重にも拘らず、仇討に亀山に向かいますが、一步手前の関宿の旅籠で女の子を出産し、産後の肥立ちが悪く旅籠で亡くなります。

事情を知った旅籠の亭主は、仇討の本懐を遂げさせようと、女の子に小萬と名付け、自分の娘として育てます。

12歳になった小萬は、亀山城下の榊原権八郎道場に6年間通い、必殺の突きを体得し、天明3年(1783年)18歳の時、本懐をとげます。

関宿の標識が立っているすぐ西には、小萬の榊原道場通い縁の、“関の小萬もたれの松”があります。(松は3代目ですが)

この仇討が、史実か伝聞なのかを明確に証明する、資料が十分でなく、また、小萬という、ごくありふれた名前が混乱を招いていました。

近松門左衛門作の「与作と小万」の中で登場する、「坂は照る照る、鈴鹿は曇る、あいの土山雨が降る」の歌詞で知られる鈴鹿馬子唄が、あまりにも有名で、小万という名が、後世になり仇討小萬と混同されていますが、この作品は仇討の100年も前のもので、ここで登場する小万は遊女です。

著名な浮世絵師・豊国三代作の、小萬を題材にした浮世絵が2枚、今日に伝わっていますが、この二枚こそが、小萬の仇討を証明する鍵であることに、私は気付いたのです。

浮世絵はその落款から、刷られた年月を知ることができ、仇討より70年後の、嘉永五年五月の世に出た「関の小萬」は、腰に刀を手挟み、背中に尺八と、当時の人気女形・岩井紫若の役者見立ての“女伊達”です。

女伊達とは、男を遥かに凌駕した、武勇に秀でた烈女のことで、関宿は、東海道宿場町の中でも、伊勢神宮の一ノ鳥居が存在する、有名な宿場であったので、若き身空で、仇討を果たした小萬のエピソードは、行き交う大勢の旅人により、江戸の豊国の耳に届くのは当然の成り行きでしょう。

そして、その4年後の安政4年に、同じ豊国三代の作「伊達の与作と関の小まん」に登場する小まんは、上述した、近松門左衛門の「馬子与作と遊女小まん」を描いたものに外なりません。

また女伊達は小萬、与作と小まんは、まんの字がひらがなと、同じ作者が明らかに異なった表現を用いています。

小萬が6年間通った、亀山城下の榊原権八郎道場が存在したことも記録に残っており、また、菩提寺にある山田屋の過去帳にも、小萬の名が残されていることよりも、関の小萬の仇討伝聞は、伝聞でなく、史実であったと確信します。

ある。

毛利攻めで岡山に居て、本能寺の変を知った秀吉は、悲報を「天下取りの好機」ととらえ、2万5千の兵をわずか6日で大阪に駆け戻すという、世に言う「中国大返し」をやったのける。信長の死後11日を経ず、山崎の合戦で光秀を討った。

そして、織田家最大の實力者柴田勝家との跡目争いにも、周到な事前準備と根回しの上で臨んだ「清洲会議」(天正10年6月)で、秀吉は見事にこれを制した。秀吉の機敏な決断力と、精緻な事前準備と根回しをやったのけた黒田官兵衛の策が、その結果をもたらせた。

時を経て、慶長5年7月、家康は、会津上杉征伐に約7万の兵をひきいて、下野の小山(現栃木県)で西軍石田光成の挙兵を知る。いかにすれば会津征伐軍として結集した7万の軍勢を解散せず、そのまま西上させることが出来るか。世に言う「小山評定」を開く。家康は、福島正則・黒田長政・藤堂高虎・山内一豊らの各武将の個性と立場とを知り尽くした上で、会議の進め方、とりわけ発言の順序まで考えて、根回しを行って評定に向かう。家康の思惑どおり会議は進み、7万の兵は結集を固め、関ヶ原へと西上。結果はご承知のとおり。

この「二つの会議」では、いずれも、事前に会議の目的を明確にした上での周到な策を練り、根回しをした上でこれに臨んだ者が勝った。結果は、偶然や奇跡で生まれるものではない。結果を生む「前兆」「原因」が必ずある。

歴史を学ぶとは、単に英雄達の夢やロマンに酔うのではなく、過去に起こった数個の現象からその「前兆」を読み取り、「立ち止まって、しっかり地に足をつけて」自分で考えた上で、それを未来や明日への教訓とする。—「歴史を日常生活に活用する」ということは、そういうことを言う。歴史を学ぶ上で「右手の法則・左手の原理」という言葉がある。右手で起こっている現象のみに惑わされず、左手を見て、バランスよく判断せよ—という意味である。「未発の発芽を見よ」とも言われる。

テレビの歴史物や歴史小説を愉しまれるのも結構ですが、確かな「史実」の中から、明日への教訓を読み取る「地に足をつけた歴史観」を身につけて頂ければと、願う。

(要約文責：富島照男)

例会	月日	今後の予定
第2030回	3.19	新入会員 自己紹介 加藤智弘君 長澤功雄君 高田朋太郎君
	3.26	規定休日のため休会
第2031回	4.2	お花見夜間例会 18:00~ ウェスティンナゴヤキャッスル (お昼の例会はございません)
第2032回	4.7	6RC合同例会 12:30~13:30 ウェスティンナゴヤキャッスル (名古屋東RCホスト)4/9(水)を例会変更
第2033回	4.16	書評家 大矢博子氏 最新・お勧め本
第2034回	4.23	表千家茶道家 宮崎雅史氏 「市井の蔭と茶の道」
	4.30	規定休日のため休会

○このウイクリーは再生紙を使用しております。

卓話

歴史を動かした会議—清洲会議・小山評定

歴史家・作家 加来 耕 三
プロフィール

1958年大阪市生まれ。「歴史研究」編集委員。NHK「BS歴史館」「その時歴史は動いた」に常連出演。著書に「うわさの日本史」(NHK出版)「歴史を動かした会議」(朝日新聞出版)「黒田半兵衛の軍師・究極」(小学館)ほか多数。



歴史の流れが変わるとき、常にエポックとなる会議が